

スマートウェルネス みつけ の推進

住んでいるだけで健幸になるまち

～意識改革から行動変容へ～



健康に関心のある層だけでなく
市民誰もが参加し、健幸になるまち

◆スマートウェルネスシティ首長研究会(平成21年～)

見附市(会長)、新潟市、三条市、妙高市、宮城県加美町、福島県伊達市、栃木県大田原市、芳賀町、茨城県つくば市、牛久市、取手市、行方市、埼玉県さいたま市、志木市、千葉県睦沢町、静岡県三島市、三重県伊勢市、岐阜県岐阜市、大阪府高石市、兵庫県豊岡市、熊本県天草市、福岡県飯塚市、佐賀県多久市、大分県豊後高田市、鹿児島県指宿市、沖縄県南城市

18府県26市町(平成25年5月10日現在)

いきいき
健康づくり

- 食生活 ● 運動
- いきがい ● 検診

地域が元気な
まちづくり
・ 経済活動
・ 産業育成 ・ 交流

環境に優しい
まちづくり
・ 新エネルギー
・ ごみゼロ

健康になれる
まちづくり
・ 道路 ・ 公園
・ 景観 ・ 交通

健幸を理解し
行動する
まちづくり
・ 教育 ・ 啓発

健幸 (=ウェルネス)
を意識したまちづくり

※健幸=ウェルネス

個々人が健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことができること

地域コミュニティ

～市民と行政の協働の推進～

見附市の基本理念：**住みたい 行きたい 帰りたい やさしい絆のまち**



概ね小学校区にわけて
地域コミュニティを進めています

地域コミュニティ

町内会や消防団、PTAなど、地域のために活動している組織や個人の活動を結びつけ、

“地域の絆”を再生し、**“地域力”**のアップをめざす

地域の取組み

- 地域コミュニティ設立準備会
- 地域コミュニティ組織の設立
- 地域住民のよる・地域住民のための
地域住民主体の活動の実践

行政は様々な形でバックアップ

- 地域住民への啓発
- 計画策定、組織づくり検討ワークショップ開設支援
- 地域ふるさとづくり計画策定補助金受付
- 地域ふるさとづくり活動交付金の交付

広がる地域コミュニティ

～豊かな人間関係が築かれたまち～



葛巻地区まちづくり協議会
(平成19年～)



上北谷ゆめづくり
協議会レインボー(平成21年～)



北谷南部みつばコミュニティ
(平成22年～)

新たに
今町町部地区
でも始動



こみゆにていほつと新潟
(平成20年～)



ほのぼの田園地区
ふれあい協議会(平成21年～)



第二小区やすらぎの郷
コミュニティ(平成24年～)



北谷北部くさなぎ
コミュニティ(平成24年～)

地域コミュニティでソーシャルキャピタル[※] アップ

【地域コミュニティ】

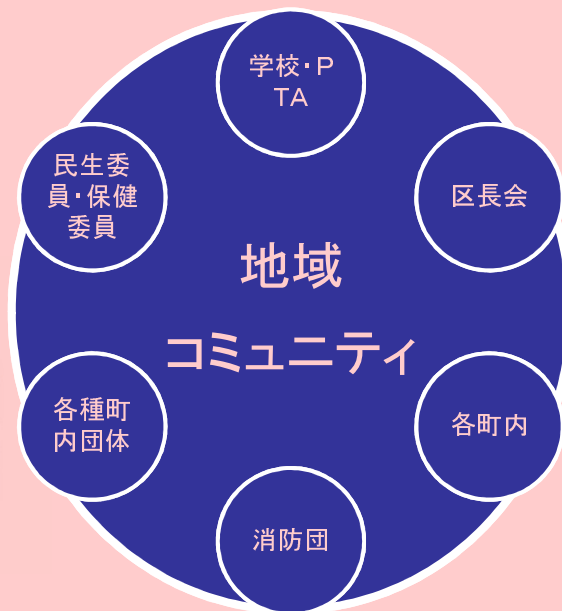
- ・ 地域住民が主体となり地域づくりを行う
- ・ 概ね小学校単位で地域を設定



防犯



環境活動



【課題解決】

自助・共助・公助

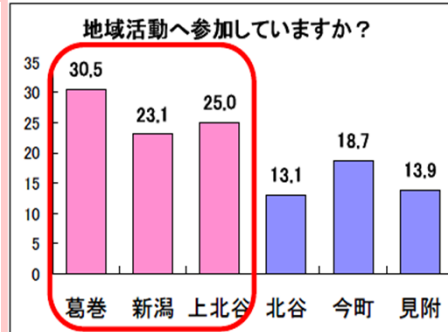
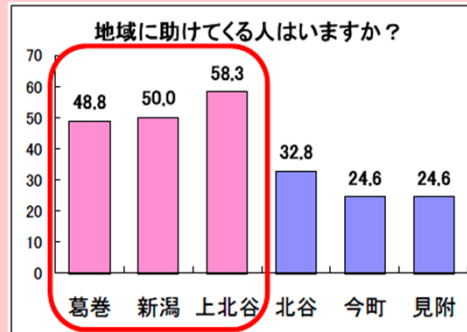
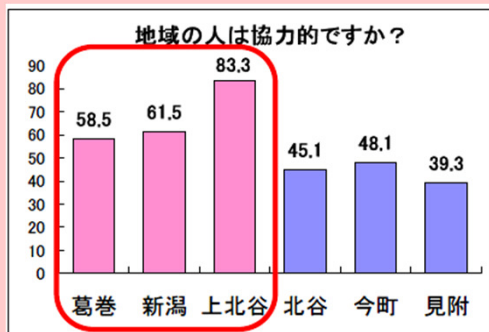
地域コミュニティ（共助）

- 健康、防災、子育て、高齢者支援 等
- ◎ 地域の確かな絆づくり
- ◎ 顔の見える関係を再構築



防災力アップ

地域コミュニティ組織が結成されている地区では、ソーシャルキャピタルが高い！



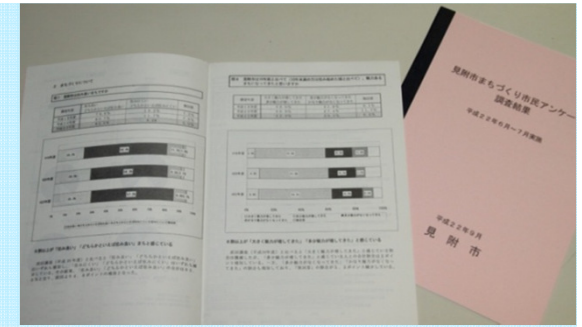
※データ：
「健康アルゴリズムによる研究」より

※ □ は
地域コミュニティ組織済

地域コミュニティ（地域力アップ）⇒ 健幸度アップ

※ソーシャルキャピタル：地域等の人間関係や信頼関係によってもたらされる社会的なネットワーク

まちづくり市民アンケート結果から (平成24年実施)



「見附は住み良いまちですか」という問いに対して、
「住み良い」「どちらかというと住み良い」と答えた人が **89.4%**

- ・ **満足度の低い項目** = 「やや不満」、「不満」の合計
 - 働き場所の豊富さ** 72.8% (81.2%)
 - 観光・レクリエーション施設の整備状況 57.4% (59.2%)
 - 医療・福祉施設の整備状況や体制 40.7% (47.5%)
 - 道路除雪や消雪パイプの整備状況 39.6% (41.9%)

平成7年以降、
満足度の低い項目

見附市最大の課題

- ・ **満足度の高い項目について** = 「満足」、「やや満足」の合計
 - 消防や救急時の体制 85.1% (84.4%)
 - 自然環境の豊かさ 79.3% (82.5%)
 - ごみや下水道などの衛生環境 75.8% (75.2%)
 - 日常生活での買い物の便利さ 75.8% (73.2%)

※複数回答
※()内は前回(H22)の調査

職員の資質向上と人材育成

自治体職員に求められる役割・機能も多様化しています
変化に対応できる能力のある職員が求められています

◆ 職員のやる気を育てる 人事考課制度の構築



10の事例のうちの一つとして
見附市の取り組みが紹介
されている

◆ 県内3市で政策自慢大会



県内の3市が集まり、
自慢の施策を披露、自慢し、褒め合う



新しい発見・気づき、刺激し合う、
「自信」「ひらめき」につなげる

◆ 久野塾（職員研修）の開催

基礎自治体の職員の意識向上を目的に、
筑波大学の久野教授を講師に迎え
「久野塾」を開催し人材育成に取り組む



◆ 職員による 業務改善提案

提案件数：66提案

採用(一部採用)数
：39案

住民主体のまちづくりの実践

平成25年6月6日 自治振興セミナー
新潟県見附市長 久住時男